令和五年度 二学期末問題(第三回)国語 小一にがっきょっもんだい だいきんかい こくご しょういち ほっかいどうチャレンジテスト

【児童用】 こたえとたしかめ

> 組み 番ん なまえ

■こたえ

2 こくごの わたしは、 がっこう んきょう \* いきました。 しました。

まり した。 たをう た

2 ぼ <del>く</del>は、 りまし した。 

3 \$ げまり たしは、 した。 (「うちました」でも ボー-ルを よいです。)

えいじくん(「えいじ」 でも よいです。)

 $=^{\frac{\delta}{\lambda}}$ 

2 (ないていた。)

ことばや

かんがえかた お 話 を 文 だ よに む きを ときには、「だれが、 つけて よむ なにをしたか。」 ことが たいせつです。 などが わかる

# とりくんでみよう!

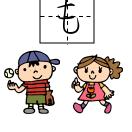
 $\bigcirc$ つぎの えに あう ことばに なるように

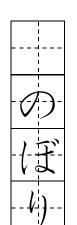
- - <mark>|</mark> - -

15

かんじを

かきましょう。







\* 7 F

こたえ

## ■こたえ

- 1① なえ(が)
- ② さいたあと(に)
- 2① さわった (「さわる」は、まちがいです。)
- ② におい
- 1(れい)羽はまだやわらかく、色もうすく黄色い。
- 2 二、三日(後)

#### ■ 考えが えたがたかた

- 書かれているかを 考える ことが・ 【田中さんの メモ】の どこを 大切です。 「かんさつカード」】が
- 2 かんさつしたことが よくつたわるように つけたしたことを えらくて、メモと 「かんさつカード」に 書かれていることを くらべて、 えらびます。
- 1 大切です。 せいちょうの ようすを じゅんじょに 気をつけて 読むことが
- 2 ことばも じゅんじょを書かれている じゅんご ?じょを「考えるための」ヒントに「なります。」じゅんばんだけではなく、「二週間後」、「二、三日後」 などの

ママ 歌 E	こたえ	2 花の 工を かく。 [	1 イモウトと あそぶ。	■ つぎの ―――線部の カタカナを、	取り組んでみよう!
	女 张 3	学校から チカ	ウミで	漢字で ていねいに	

令和五年度 二学期末問題(第三回) ほっかいどうチャレンジテスト 国語 小三 と できると 確かめ かん 組 番 氏名

#### ■正答

【司会①】 ウ 【司会②】イ 【司会③】

ア

- 2 和 1) 運動会の練習ができると思ったからです。 わたしは、「力を合わせて」 です。 理由は、 2 んなの 心をひとつにして、
- ※自分なりの合い言葉を書いていることと、その理由が書か 正か です。 れて (,) る場合は

\_

3

(だん落から) (だん落まで)

2 ウ

# ■考え方

- 1 るかを考えることが大切です。 司会がどこでどんな言葉を使って進行すると、司会の役わりを果たすことができ
- 2 ことが大切です。 それぞれちがう意見をもっているので、 意見にはなぜそう考えたかの理由をつける
- が説明されているなど、それぞれのだん落で説明されていることやそのつながりを考える③だん落には、チャイムやサイレンなどの音の合図の例があり、4だん落にはそのよさ ことが大切です。

二学期末問題 令和五年度 ほっかいどうチャレンジテスト (第三回) 国語 小四 【児童用】 答えと確かめ 組 番 氏名

#### ■ 正 答

1 A::3 \sqrt{7}

B : ®

2 (例) バランスをとったりできる(ので、……)(四十四字)ムササビは、飛まくで風を受けたり、長い尾を船のか 長い尾を船のかじのように使っ 7

1 工

2 7:3

イ::1

ウ…2(完全解答)

3

(例2) (例 近くの市や町だけでなく多くの人たちがかかわっていることがわかりま遠くの市や町と力を合わせていることにおどろきました。(二十六字) した。 (三十五字)

### ■考え方

- 【文章】の段落③~⑦には、 ムササビの「飛まく」について、段落⑧には、 ムササ
- 2 - 山田さんが伝えたいことは、ムササビがビの「長い尾」について書かれています。 と「長い尾」の二つについて書くと正答になります。できる仕組みです。そのことが段落③~⑧に書かれているので、 ムササビが木から木へ空中をすべるように飛んで移動 ムササビの「飛まく」
- 2 に書くことであらたまった気持ちを伝えることができます。 手紙の後付けを書く位置には意味があります。例えば、あて名を最終行の上の位置
- 3 に伝わりやすくなります。 手紙をだれに、何のお礼を伝えるのかを決めてくわしく書くと、気持ちがより相手

答え	2 工キに着く。	1オクジョウに上がる。	■ 次の―――線部のカタカナを、	取り組んでみよう!
ヤ (U)※ E 脂 Z 下喜 I	4 ビョウインに行く。	」 3 矢をハナつ。	漢字でていねいに書きましょう。	
	ı \/	/		

二学期末問題(第三回)国語 小五	令和五年度 ほっかいどうチャレンジテスト	
【児童用】	答えと確かめ	
弁	狙	
1	番	
氏名		

#### ■ 正 答

ウ

- 2
- (例2) どのように声をかけたらよいですか。(十七字)どんなふうに声をかけていますか。(十六字)
- 3 (例 いくこともある 0 で、 っけ
- 2 言い方になっている場合、正答とします。※ボール遊びがあぶない理由が書かれており、文末がるのであぶないそうです。(四十五字)特に、ボール遊びは、はしのほうで低学年の子たちもたほうがよいようです。(四十四字) 遊 6 で () ることが あ
  - 文末が聞 いたことを伝える

\_ В (社)

2 А (社)

- (二十一字)
- ※どちらも合っていたら正答(例2)B社の記事には、藤本選手のことが書かれてい(例1)最優秀選手である議本選手が写っているから。 ないから。(二十六字)
- 3 (例 1 (試合後の岩佐かんとくのコメントを書くことで、)世界を見すえてち 戦を続ける宮城マックスのことを伝えたい。(三十字) ょう
- (例2) ば、正答とします。※その他、試合後のかんとくのコメントから伝わったことが書かれていれお、かんとくの強い思いを伝えたい。(二十七字)(試合後の岩佐かんとくのコメントを書くことで、)世界を見すえて意気ご

# ■ 一考 3方

たいのかなどを明らかにして聞くことが大切です。どのように生かそうとしているのか、そのためにどういったことを相手から聞き出し、インタビューをするときは、自分はどのようなことを聞きたいのか、聞いた内容を

# 取り組んでみよう!

 $\bigcirc$ に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの次の文は、地域の人や保護者に発表会の案内をする手紙の一部です。 その番号を書きましょう。 中から一つ選ん ア 1

にアので、ぜひ	発表会に向けて、
0 イ ください。	、ぼくたちは心を合わせて歌の練習

や 1) ます

って

つ 7

や います

イイイイ 来来うう ててかか がが

4 3 2 1 アアアア ははははげげげげ いんでいますいんでいらっていんでいらっていらっていらっていらっていらってい

答え

番号

 $\forall$ 

二学期末問題 (第三回) 令和五年度 ほっ かいどうチャレンジテスト 国語 小六

答えと確かめ 【児童用】

組

氏名

#### 正答

方言

2

4

3 (例1) 初 域わ

で地く 0 < りにま ŧ 0通じる言葉で, あ はる - 一字)

(例2) ŧ か 正 (二十三字

例3) (共通語は、)と(共通語は、)と てだどにいれのわ く、観光客が気持-ちよく過ごせる

3 (例 (1) (わ ツをす 合のと

2) (わたしは、) ト。ハー いい が が が が です。理由は、勝ち負けだけではなく、上手になりたいとい 見に反対です。理由は、勝ち負けだけではなく、上手になりたいとい しい にしは、)スポーツは勝利を求めてやるからこそよいという投稿 作戦を変えたりすれば、体をこわさないと思うからです。(八十七字) はない」という意見に反対です。なぜなら、練習方法を見直したり、 はない」という意見に反対です。なぜなら、練習方法を見直したり、 大切だと思うか、になりたいという投稿((八十七字) う で気の持意

(九十六字)

### 一考え方

- たがいに考えを広げたりまとめたりすることが大切です。とするのではなく、異なる立場からの考えを聞き、意見の基となる理由をたずね合うことで話合い活動では、立場が異なる場合においても、たがいに言い負かすことを話合いの目に たがいに言い負かすことを話合いの目的
- 構成であることから、どこが書き手の意見なのかに着目して情報をとらえることが大切です。この投稿は、自分の意見が述べられ、その理由付けとして適切な事実や事例を挙げている
- 2 投稿4は「自分の経験を述べる」、 言葉を引用する」など、 している部分に着目します。投稿7は「ことわざや格言を使う」くふうをしています。また、書き手が読み手を説得したり、共感してもらうために理由を付けたり、根きょを挙げたり 投稿5は「具体的な数値を使う」、 投稿6は 根きょを挙げたり 「有名な人の
- 3 自分の考えを明らかにすることが大切です。どちらの投稿の主張に支持できないのかを考え、 Jちらの投稿の主張に支持できないのかを考え、投稿に書かれている理由や事例を参考に、投稿1と投稿2を読み比べ、書き手の主張がどこに書かれているか見付けます。自分は、I葉を引用する」など、読み手を説得させるためのくふうをしています。

